MI·RA·Is/PX

DDS 指紋認証環境構築手順

初めに読む資料

4版 2017年12月22日



※ 本商品は医療機器ではありません。意図した使用目的に診断・治療・予防用途は含まれていません。

改訂履歴

版数	改訂日	内容	
初版	2017/07/01	新規作成	小島
2版	2017/09/13	 「3-5. EVE MA 初期ユーザー作成と EVE MA 管理者権限付与」 記載内容の変更 P6 変更前) EVE MA サーバーで下記 SQL を実行し… 変更後) EVE MA サーバーで下記コマンドを実行し… P7 変更前)コマンドプロンプトが起動するので下記 SQL を… 変更後)コマンドプロンプトが起動するので下記コマンドを… 変更前)下記 SQL でパスワードの再設定を行う。 変更後)下記コマンドでパスワードの再設定を行う。 P8 変更前)コマンドプロンプトが起動するので下記 SQL を… 変更後)コマンドプロンプトが起動するので下記コマンドを… コマンドプロンプトが起動するので下記コマンドを… ショマンドプロンプトが起動するので下記コマンドを… ショマンドプロンプトが起動するので下記 SQL を… 変更後)コマンドプロンプトが起動するので下記コマンドを… (11) Manager の設定」 「4-2-4.ID Manager アプリケーションの登録」面面のイメージの設定内容一覧」 「4-2-4-3. アプリケーションの登録画面設定イメージ」の追加 	小島
3版	2017/10/27	 「2.制限事項」 No.19 複数病院対応機能が有効の場合の制限事項の追加 「4.ID Manager の設定」 ・検出条件の「タイトルの完全一致チェックボックス」のチェック 状態の変更(OFF から ON へ変更) ※上記変更に関係する箇所の画面イメージ、記載内容を変更 「7.関連設定ファイル」 ・「7-1.MIRAIs.xml」に複数病院対応のコンフィグ設定の記載追加 	小島
4版	2017/12/22	 「3・4. EVE MA 管理者用ドメインユーザーの作成」 ・管理者用端末で実施する旨を追記 「3・5. EVE MA 初期ユーザー作成と EVE MA 管理者権限付与」 ・Administrator 権限のあるユーザーで設定を行う旨を追記 ・コマンド実行時の注意事項の追記 「4.ID Manager の設定」 ・管理者用端末で実施する旨を追記 「6・2. 指紋登録」 ・画面イメージに赤枠(注意喚起)を付けていない箇所があった為赤枠の追加 	小島

4 HE	2017/19/99	■「7.職員マスター(ComStaff)の設定」	小自
4 /政	2017/12/22	・セクションの追加	/1,四
<u> </u>			

目次

1.	概專	म्	. 1
2.	制冏	艮事項	. 2
3.	DD	S 社指紋認証環境の構築	. 4
3^{\cdot}	-1.	ハードウェア要件およびシステム要件	. 4
3^{\cdot}	-2.	指紋認証機能のインストール	. 4
$3 \cdot$	-3.	EVE MA 管理用端末の環境構築	. 5
3^{\cdot}	-4.	EVE MA 管理者用ドメインユーザーの作成	. 5
3^{\cdot}	-5.	EVE MA 初期ユーザー作成と EVE MA 管理者権限付与	. 6
3^{\cdot}	-6.	EVE MA 管理ツールにログオンする	. 9
4.	ID	Manager の設定	13
4	-1.	認証セットの追加	13
4	-2.	共通アプリケーションの設定	16
	4-2-	・1. ID Manager アプリケーションを追加する	17
	4-2-	·2. 詳細の設定	18
	4-2-	·3. 対象アプリケーションを登録する	20
	4-2-	·4. ID Manager アプリケーションの設定内容一覧	29
4	-3.	認証セットの設定	34
4	-4.	ID Manager のリロード	26
5.		ib Hanagor (>) ()	50
	クラ	iD Hanager ックマート ライアント端末の環境構築	37
5^{\cdot}	クラ •1.	ライアント端末の環境構築 クライアント端末のセットアップ	37 37
5 [.] 6.	クラ -1. 指約	ライアント端末の環境構築 クライアント端末のセットアップ 文登録	37 37 37
5 [.] 6. 6 [.]	クラ -1. 指約 -1.	ライアント端末の環境構築 クライアント端末のセットアップ 文登録	37 37 37 37
5- 6. 6 ⁻ 6 ⁻	クラ -1. 指約 -1. -2.	ライアント端末の環境構築 クライアント端末のセットアップ 文登録 ユーザーの作成 指紋登録	37 37 37 37 37
5. 6. 6 [.] 6 [.] 7.	クラ -1. -1. -1. -2. 職員	 ライアント端末の環境構築	 37 37 37 37 37 37 47
5. 6. 6 [.] 6 [.] 7. 8.	ク -1. 指 -1. 光 1. -2. 職 関 遅	 ライアント端末の環境構築	 37 37 37 37 37 47 48
5. 6. 6. 7. 8. 8.	クラ -1. 指 -2.職関 -1. ジ -1.	ライアント端末の環境構築 ライアント端末のセットアップ クライアント端末のセットアップ ジ登録 ユーザーの作成 ジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジ	 37 37 37 37 37 47 48 48
5 6. 6 7. 8. 8 8	クラ -1. 指 -2. 職関 -1. -2. 職関 -1. -2.	ライアント端末の環境構築	 37 37 37 37 37 47 48 48 48 48
5. 6. 6. 7. 8. 8. 8. 8. 8. 8.	クラ -1. 指 -2.職関 ·1. ·2. 歌関 ·1. ·3.	ライアント端末の環境構築	 37 37 37 37 37 37 47 48 48 48 49
5. 6. 6. 7. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8.	ク・1. -1. -1. -1. -1. -2. 職関 -1. -2. -1. -3. -3. -4.	ライアント端末の環境構築	 37 37 37 37 37 37 47 48 48 48 49 49

1. 概要

MIRAIs でユーザーID・パスワードの認証画面を有する機能において、DDS 社提供の指紋認証キット「UBF-neo」「UBF-Tri」を用いて認証を行う為の環境構築を目的とする。

2. 制限事項

No	制限事項	補足
1	「Windows Logon Lite」方式でログインを行う。	「仮想スマートカード」を利用した場合の検
		証は行っておりません。
2	「パスワード変更通知」を利用する。インストール	
	先はドメインコントローラーサーバーとする。	
3	指紋の登録/更新/削除は管理用端末のみ可能とし、	インストール機能
	クライアント端末は Windows ログオン時の認証機	<管理用端末>
	能のみインストールする。	・Windows ログオン時の認証機能
		・EVE MA 管理ツールのインストール
		<クライアント端末>
		・Windows ログオン時の認証機能
4	MIRAIs を使用している全ての端末に「クライアン	クライアント環境構築には以下手順が必要で
	ト端末」の設定を行う。	す。
		・指紋認証ドライバーのインストール
		・ドメインに参加させる
		・install.ini の設定
		・インストーラーの実行
		※install.ini は共通の設定となるため端末毎
		の設定は不要です。
5	EVE MA ユーティリティは使用しない。	環境構築時にインストールを行わない。
-		
6	持ち出し機能は使用しない。	環境構築時にインストールを行わない。
6 7	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定と	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す
6 7	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定と する。	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表
6 7	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定と する。	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。
6 7 8	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定と する。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わな	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を
6 7 8	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定と する。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わな いこと。	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア
6 7 8	 持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設
6 7 8	 持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた
6 7 8	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた め、パスワードの変更は禁止します。
6 7 8 9	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定と する。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わな いこと。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変更は行	 環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた め、パスワードの変更は禁止します。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変
6 7 8 9	 持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた め、パスワードの変更は禁止します。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変 更を行うと、EVE MA サーバーが AD LDS
6 7 8 9	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた め、パスワードの変更は禁止します。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変 更を行うと、EVE MA サーバーが AD LDS インスタンスにアクセスできなります。
6 7 8 9 10	 持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 各ドメインユーザーのユーザー名/パスワードの登 	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた め、パスワードの変更は禁止します。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変 更を行うと、EVE MA サーバーが AD LDS インスタンスにアクセスできなります。 Windows ログイン時のユーザー(ドメイン
6 7 8 9 10	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 各ドメインユーザーのユーザー名/パスワードの登録/変更を行った場合、変更内容を MIRAIs (職員	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた め、パスワードの変更は禁止します。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変 更を行うと、EVE MA サーバーが AD LDS インスタンスにアクセスできなります。 Windows ログイン時のユーザー(ドメイン ユーザー)で MIRAIs ログインユーザーの
6 7 8 9 10	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 各ドメインユーザーのユーザー名/パスワードの登録/変更を行った場合、変更内容を MIRAIs(職員マスター(ComStaff))に登録/変更を行う。	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた め、パスワードの変更は禁止します。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変 更を行うと、EVE MA サーバーが AD LDS インスタンスにアクセスできなります。 Windows ログイン時のユーザー(ドメイン ユーザー)で MIRAIs ログインユーザーの 判断をしています。
6 7 8 9 10	持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定と する。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わな いこと。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変更は行 わないこと。 各ドメインユーザーのユーザー名/パスワードの登 録/変更を行った場合、変更内容を MIRAIs (職員 マスター(ComStaff)) に登録/変更を行う。	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた め、パスワードの変更は禁止します。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変 更を行うと、EVE MA サーバーが AD LDS インスタンスにアクセスできなります。 Windows ログイン時のユーザー(ドメイン ユーザー)で MIRAIs ログインユーザーの 判断をしています。 登録/変更内容を職員マスターに反映しなか
6 7 8 9 10	 持ち出し機能は使用しない。 Windows 起動時にログイン画面を表示する設定とする。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変更は行わないこと。 各ドメインユーザーのユーザー名/パスワードの登録/変更を行った場合、変更内容を MIRAIs(職員マスター(ComStaff))に登録/変更を行う。 	環境構築時にインストールを行わない。 ログイン時に DDS 社指紋認証画面を表示す る為、Windows 起動時にログイン画面を表 示する設定とする。。 AD アクセス用ユーザーのパスワード変更を 行った場合、EVE MA サーバーが AD にア クセスできな くなり、パスワードの再設 定、レジストリの再設定などが必要となるた め、パスワードの変更は禁止します。 AD LDS アクセス用ユーザーのパスワード変 更を行うと、EVE MA サーバーが AD LDS インスタンスにアクセスできなります。 Windows ログイン時のユーザー(ドメイン ユーザー)で MIRAIs ログインユーザーの 判断をしています。 登録/変更内容を職員マスターに反映しなか った場合、そのユーザーは MIRAIs ヘログ

No	制限事項	補足
11	職員マスター(ComStaff) ヘユーザー名を登録す	<職員マスターへの登録例>
	る際はすべて大文字に変換した状態で登録を行う。	AD ユーザー名 : mirai
	小文字を含めた状態で登録を行った場合、ログイン	職員マスター登録時:MIRAI
	できません。	※ドメインユーザーのユーザー名を大文字に
		する必要はありません。
		※パスワードは大文字、小文字を判断するた
		め、大文字、小文字の区別をして登録する。
12	パスワードは最大 10 文字までとする。	職員マスター(ComStaff)では 11 文字以上
		のパスワードが登録可能となりますが、11
		文字以上で登録した場合 MIRAIs へのログ
		インは行えません。
13	各ドメインユーザーのユーザー名/パスワードの登	以下の条件が整っている場合 EVE MA サー
	録/変更を行った場合、変更内容を EVE MA サーバ	バーへの変更内容の更新は不要です。
	ーに登録/変更を行う。	・ドメインサーバーにパスワード変更通知が
		インストールされていること。
		・EVE MA サーバー設定時に maconfig.ini
		– [Server¥50008_winlogonlite]セクショ
		ン- [CreateEntry]で「1」を指定している
		こと。
		※手順書通り設定を行った場合、上記設定と
		なる為、各ドメインユーザーのユーザー名
		/パスワードの登録/変更を行った際の EVE
		MA サーバーへの変更内容の更新作業は
		不要となります。
14	「認証画面をロックする方法」では「ウィンドウを	「ウィンドウをロック」以外の設定にした場
	ロック」以外の設定にしないこと。	合、DDS 社指紋認証画面が正常に起動しま
	※「4-2-3-1.詳細画面の設定」を参照	せん。
15	MIRAIs にログインしているユーザーの変更を行う	
	場合、1 度 Windows をログアウトして、ユーザー	
	を変え再度 Windows のログインを行う。	
16	DDS 社以外の指紋認証機能と DDS 社の指紋認証が	MIRAIs[SIMON]PIDSW=0
	混在しないように DDS 社指紋認証以外の機能を無	
	効にする。	
17	MIRAIs メイン画面の職員パスワードは使用不可と	MIRAIsMain[MENU]MENUDISPxx=パス
	します。	ワード変更^0^0
18	パスワード変更督促機能は使用不可とします。	MIRAIsMain[PASSWORDCHECK]SW=
		OFF

No	制限事項	補足
19	複数病院対応機能が有効の場合の制限事項です。	複数病院対応機能は下記設定の場合有効とな
		ります。
	MIRAIs ログイン時にログイン施設の変更を行う場	MIRAIs[複数病院対応]SW=ON
	合、DDS 社指紋認証画面を終了し、手動でユーザ	
	ーID,パスワードの入力を行う動きとする。	

3. DDS 社指紋認証環境の構築

既に DDS 社指紋認証機能がインストール済みの場合、本手順は不要です。

3-1.ハードウェア要件およびシステム要件

インストール前にハードウェア要件およびシステム要件に関して、『EVE MA はじめにお読みください.pdf』を確認してください。

※『EVE MA はじめにお読みください.pdf』マニュアルは DDS 社より提供されている媒体に 含まれています。

3-2.指紋認証機能のインストール

『EVE MA インストールマニュアル.pdf』の「3.サーバー構築」に従い環境の構築を行う。

※『EVE MA インストールマニュアル.pdf』マニュアルは DDS 社より提供されている媒体の「Document」フォルダー直下に含まれています。

下記項目を確認してから環境構築を行ってください。

・「Windows Logon Lite」方式でログインを行うため「仮想スマートカード」を利用する場合の手順は不要となります。

 「AD アクセス用ユーザー」「AD LDS アクセス用ユーザー」「AD LDS インスタンス名」を を下記内容で設定する。

設定名	推奨設定名
ドメインのユーザー	
AD アクセス用ユーザー名	ADAccessUser
AD アクセス用パスワード	Adaccess#pass
AD LDS インスタンス	
AD LDS インスタンス名	MAdb
AD LDS アクセス用ユーザー名	DBAdmin
AD LDS アクセス用パスワード	Db#admin

AD アクセス用ユーザー: EVE MA サーバーやツールが AD のアクセス時に内部的に使用するユーザー AD LDS アクセス用ユーザー: EVE MA サーバーが AD LDS インスタンスに接続するためのユーザー

・AD LDS に設定するプラグインは以下となります。

プラグイン名	説明
d1000.mldf	必須のプラグイン
p50006.mldf	ID Manager を利用する場合に必要なプラグイン
p50008.mldf	Windows Logon Lite を利用する場合に必要なプラグイン
u21.mldf	紋認証時を利用する場合に必要なプラグイン

3-3.EVE MA 管理用端末の環境構築

『【EVE MA 管理用端末】 - 環境構築手順書.docx』を参照し管理者用の端末を構築する。

3-4.EVE MA 管理者用ドメインユーザーの作成

本手順は管理者用端末で行います。

「Active Directory ユーザーとコンピューター」から、EVE MA 管理者用のドメインユーザーを 作成します。

※ドメインの管理者権限のあるユーザーでユーザーの作成を行ってください。

※既存のユーザーを管理者として設定する場合は、この作業は不要です。

設定名	推奨設定名
ドメインのユーザー	
EVE MA 管理者用ユーザー名	maadmin
EVE MA 管理者用パスワード	maadmin

3-5.EVE MA 初期ユーザー作成と EVE MA 管理者権限付与

本手順は EVE MA サーバーで行います。

PCのAdministrator権限のあるユーザーで設定を行います。

EVE MA サーバーで下記コマンドを実行し「3-4.EVE MA 管理者用ドメインユーザーの作成」で 作成した EVE MA 管理者用のユーザーを EVE MA へ作成し、EVE MA の管理者権限を与える。

【EVE MA ヘユーザーを作成するコマンド】

maconfig.exe --create-user-entry maadmin@<DNS ドメイン名> --password maadmin

【ユーザーへ EVE MA の管理者権限を与えるコマンド】

maconfig.exe --enable-administrator maadmin@<DNS ドメイン名>

1. EVE MA サーバーにコピーした「tools」フォルダーを開き、アドレスバーに「cmd」と入力 して「Enter」キーを押下する。



2. コマンドプロンプトが起動するので下記コマンドを実行する。

maconfig.exe --create-user-entry maadmin@<DNS ドメイン名> --password maadmin

実行結果に下記内容が表示されることを確認する。

Created an entry for "maadmin@<DNS ドメイン名>".

Reset password for " maadmin@<DNS ドメイン名>".

※「<DNSドメイン名>」と「--」の間にスペースを入れる事。スペースを入れない場合正常に コマンドが実行されません。

管理者: C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	
Microsoft Windows [Version 6.0.6002] Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.	
C:¥Users¥galileo.DDS¥Desktop¥tools> C:¥Users¥galileo.DDS¥Desktop¥tools>maconfig.execreate-user-entry maadmin@DDS.localpassword maadmin Created an entry for "maadmin@DDS.local". Reset password for "maadmin@DDS.local".	

実行結果に下記内容が表示された場合、以下手順が必要となります。

User "maadmin@<DNS ドメイン名>" already exists in the database ldap:// < AD LDS サーバー IP アドレス >:< AD LDS イン スタンスポート番号 >/< AD LDS インスタンス 識別名 >.

■管理者: C#Windows¥System32¥cmd.exe

 Microsoft Windows [Version 6.0.6002]

 Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

 C:¥Users¥galileo.DDS¥Desktop¥tools>maconfig.exe --create-user-entry maadmin@DDS.local --password maadmin

 User ‴maadmin@DDS.local″ already exists in the database Idap://192.168.229.71:43553/CN=MAdb,DC=dds,DC=local.

下記コマンドでパスワードの再設定を行う。

※「<DNS ドメイン名>」と「--」の間にスペースを入れる事。スペースを入れない場合正常に コマンドが実行されません。

maconfig.exe --set-password maadmin@<DNS ドメイン名> --password maadmin

実行結果に下記内容が表示されることを確認する。

Reset password for "maadmin@<DNS ドメイン名>"

画管理者: C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	
Microsoft Windows [Version 6.0.6002]	
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.	
C:¥Users¥galileo.DDS¥Desktop¥tools>maconfig.exeset-password maadmin@DDS.localpassword maadmi Reset password for "maadmin@DDS.local".	n

3. コマンドプロンプトが起動するので下記コマンドを実行する。

maconfig.exe --enable-administrator maadmin@<DNS ドメイン名>

実行結果に下記内容が表示されることを確認する。

Enabled administrative privileges to user " maadmin@<DNS ドメイン名>".

管理者: C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	
Microsoft Windows [Version 6.0.6002] Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.	
C:¥Users¥galileo.DDS¥Desktop¥tools>maconfig.execreate-user-entry maadmin@DDS.localpassword m Created an entry for "maadmin@DDS.local". Reset password for "maadmin@DDS.local".	naadmin
C:¥Users¥galileo.DDS¥Desktop¥tools>maconfig.exeenable-administrator maadmin@DDS.local Enabled administrative privileges to user "maadmin@DDS.local".	

4. 「EVE MA Server Service」サービスの再起動を行う。

🖏 ESET HTTP Server			ESET		手動	Network
🔍 ESET Service			ESET	開始	自動	Local S
🚉 EVE MA Server Service	2月11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1		EVE	開始	自動	Local S
🔍 Extensible Authenticatio	信止(①)		拡張…	開始	自動	Local S
🤹 Function Discovery Prov	一時停止(1)		機能		手動	Local S
🤹 Function Discovery Res	再盟(M)		ວທ⊐…	開始	自動	Local S
🖏 Group Policy Client	再起動(E)		管理…	開始	自動	Local S
🎑 Health Key and Certifica			ネット		手動	Local S
🎑 Human Interface Device			Łı−…		手動	Local S
🎑 Hyper-V Data Exchange	最新の情報に更新(F)		仮想…	開始	自動	Local S
🎑 Hyper-V Guest Shutdow		_	この仮…	開始	自動	Local S
🎑 Hyper-V Heartbeat Serv	70/(5 7(R)		定期…	開始	自動	Network
🤹 Hyper-V Time Synchron	ヘルプ(H)		この仮…	開始	自動	Local S
🎑 Hyper-V Volume Shadow	Copy Requestor		物理	開始	自動	Local S

※「コントロール パネル¥すべてのコントロール パネル項目¥管理ツール」にある 「サービス」を起動し、「EVE MA Server Service」サービスの再起動を行う

3-6.EVE MA 管理ツールにログオンする

本手順は管理者用端末で行います。

1. 「コントロールパネル」を起動し「管理ツール」を選択する。



2. 「Active Drectory ユーザーとコンピューター」を選択する。

 協 J □ = ファイル ホーム 	共有	ショートカット ツール 管理 表示 管理		- B. #J			-		?
アクテクアクセニピー! スにピン留め	貼り付け	バスのコピー 移動先 コピー	X INA	日本 新しい フォルダー	レートカット • プロパテ・	 編集 編集 器振野除 7 2 履歴 器 選択の切り替え 			
	クリップ፣	ti− F	整理	新規		開く 選択			
← → * ↑ ² / ² / ²	j > _)	小ロール パネル → すべてのコントロール パネル項	[目 → 管理ツール				5 ∨	管理ツール… 🔎	
	^	□ 名前 ^	更	新日時	種類	サイズ			^
📌 クイック アクセス		Remote Deckton Servicer	20	17/06/08 21-27	ファイル フォルダー				
📃 デスクトップ	*	Remote Desktop Services	20)17/03/19 5:59	ショートカット	2 KB			
🖊 ダウンロード	*		· ~	16/10/09 12:22	Stark Thick	2 KB			
🗎 ドキュメント	*	🖂 🔁 Active Directory ユーザーとコンピュー	ዎ- 20	016/10/08 13:41	ショートカット	2 KB			
📰 ピクチャ	*	Active Directory EDE 677-	21	10/10/06 13:47	ショードカフト	2 ND			
Bin		📝 ADSI エディター	20	017/03/19 5:59	ショートカット	2 KB			
Document		🎇 DFS の管理	20	016/10/08 13:47	ショートカット	2 KB			
MiraiMstMnt		🎘 DHCP	20	016/10/08 13:49	ショートカット	2 KB			
System32		🍰 DNS	20	016/10/08 13:47	ショートカット	2 KB			
Gystemse		🔝 iSCSI イニシエーター	20	017/03/19 5:57	ショートカット	2 KB			
a OneDrive		🚰 Microsoft Azure サービス	20	016/10/08 13:42	ショートカット	2 KB			
PC		📷 ODBC データ ソース (32 ビット)	20	017/03/19 5:58	ショートカット	2 KB			
 ダウンロード		■ ODBC テータ ソース (64 ビット)	20	017/03/19 5:57	ショートカット	2 KB			
= = 7/1 km f		🤧 Windows PowerShell 用の Active	Directory E 20	016/10/08 13:46	ショートカット	2 KB			
		Windows Server Update Services	20	016/10/08 13:49	ショートガット	2 KB			
10,2141		ing Windows Xモリ診断	20	017/03/19 5:57	ショートカット	2 KB			
■ ビクチャ)画 1ハノト ビューゲー (画) ナッニイン しつポンダー 等理	20	11//03/19 5:57	ショートガット	2 KB			
🔡 ビデオ	~	◎ ハフラ1フ レスホノダー管理	20	16/10/08 13:48	ショートカット	2 KB			~
43 個の項目 1 個の項目を選択 1.13 KB					14 101016	266			

3. ドメインを選択し、右クリックメニューの「プロパティ」を選択する。

□ Active Directory ユーザーとコンピューター							×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)							
🗢 🔿 📶 📋 🖾 🤉 📓 👘 🧏	⇔ → 2 m ⊔ 1 0 0 0 1 × 1 × 1 × 2 × 1 × 2 ×						
Active Directory ユーザーとコンピューター [TESTDOMAINSUDDS.local] Gasta 50 T J Gasta 50 T J Gasta 50 T J Million要任(E) BitLocker 回復/プスワードの検索(R) 枝束(I) ドメインの変更(D) ドメインの変更(D) ドメインの変更(C) ドメインの変更(C) ドメインの変更(C) ドメインの変更(C) ボイズのの見えび(N) 参 ボ(R (R) 香水(F) 受ロンスポート(L) プロ(ディ(R) ヘリレブ(H)	名前 Builtin Computers Domain Controllers ForeignSecurityPrincipals Managed Service Accounts Users	種類 builtinDomain コンテナー 掲載単位 (OU) コンテナー コンテナー コンテナー	記明 Default container for up Default container for do Default container for sec Default container for up Default container for up				
「蓮沢した頃日のノロハナ1 ツ1 アロク ハックスを開きます。							

4. 「EVE」タブを選択し、「ログオン」ボタンを押下する。

DDS.localのプロパティ	?	×
全般 管理者 EVE		
全般		
□ オフラインでの認証を許可する(E)		
		_
ログオン(L) ログオフ(O)		
ログアウト済み		
OK キャンセル	適用	(A)

5. 「ユーザー名」に「3-4.EVE MA 管理者用ドメインユーザーの作成」で作成したユーザーを 指定し、「パスワード」欄にパスワードを入力してログインする。

🤰 EVE MA 管理ツール - ログオン (評価用ライセンス)	×
ユーザー名(U): maadmin@dds.local	
Password for MA settings パスワード(P):	
OK キャンセル	

※手順書通り設定を行った場合ユーザー名、パスワードは以下となります。

ユーザー名 : maadmin@<DNS ドメイン名> パスワード : maadmin 6. 「EVE」タブに「全般」「アプリケーション」「認証セット」「認証要素」タブか表示された ことを確認する。

DDS.localのプロパティ	?	×
全般 管理者 EVE		
全般 アプリケーション 認証セット 認証要素		_
☑ オフラインでの認証を許可する(E)		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-
ユーザー名: galileo@dds.local		
OK キャンセル	適用((A)

4. ID Manager の設定

本手順は管理者用端末で行います。 以降の手順は MIRAIs と連携する為の設定となります。

4-1.認証セットの追加

指紋認証キット「UBF-neo」「UBF-Tri」にて指紋認証を行う際に必要な認証セットを追加する。

1. 管理ツールを起動し「EVE」タブを選択する。

「認証セット」タブを選択し、「追加」ボタンを押す。

DDS.localのプロパティ	?	×
全般 管理者 EVE		
全般 アプリケーション 認証セット 認証要素		
Password for MA settings		
	_	
	↑ (U)	
	↓ (O)	
		,
2月/14(D) 変更(M) 削除(E) 副	又疋(3)	
OK キャンセル	適用(/	A)

2. 認証セット名に「指紋認証」と入力する

認証セットの追加			×
認証セット名(N): 指紋認証 説明(D):			
選択可能な認証要素(V): Password Hybrid Fingerprint	<u>追加(</u> A) > < 削除(R)	必要な認証要素(Q): □ オンラインでの認証を許可する(L) □ オフラインでの認証を許可する(E) □ 常に表示する(S) □ 管理ツール以外でも使用する(H)	↑ (U) ↓ (O)
		ОК	キャンセル

3. 選択可能な認証要素から「Hybrit Fingerprint」を選択し、「追加」ボタンを押下する。

認証セットの追加	×
認証セット名(N): 指紋認証	
記印(D):	
選択可能な認証要素(V):	必要な認証要素(Q):
Paceword Hybrid Fingerprint 追加(A)	> (U)
< 肖JB余(F	ψ(O)
	☑ オフラインでの認証を許可する(E) ☑ 常に表示する(S)
	✓管理ツール以外でも使用する(H)
	OK キャンセル

4. 必要な認証要索に「Hybrit Fingerprint」が追加されている事を確認して、「OK」ボタンを 押下する。

認証セットの追加				×
認証セット名(N): 指紋認証 説明(D):				
選択可能な認証要素(V): Password	追加(A) > < 削除(R)	必要な認証要素(Q): 1. Hybrid Fingerprint	↑(U) ↓(O) キャンセル	

5. 認証セットに「指紋認証」が追加されたことを確認する。

DDS.localのプロパティ	?	×
全般 管理者 EVE		
全般 アプリケーション 認証セット 認証要素		
■ Password for MA settings ■ 指紋認証		
	1 (U)	
	↓ (O)	
		1
追加(D) 変更(M) 削除(E)	設定(S)	
OK キャンセル	適用(4	4)

4-2.共通アプリケーションの設定

共通アプリケーションは、複数のユーザーが共通して利用するアプリケーションです。 EVE MA 管理者で EVE MA 管理ツールから登録を行ってください。

現地の環境に合わせて設定が必要な共通アプリケーションを選択してください。 尚、現場で使用していない機能に関するアプリケーションの追加を行っても他の機能に影響はありま せん。どのアプリケーションを追加していいか分からない場合は全てのアプリケーションの追加を 行ってください。

追加対象となる共通アプリケーションは以下となります。

アプリケーション名	必須	説明
MIRAIs ログイン	必須	MIRAIs ログイン時に必要となります。
スクリーンセーバー・離席時		MIRAIs スクリーンセーバー、もしくは、離席機能を使用
		時に必要
カルテ印刷		カルテ画面からカルテ印刷を起動する際にログイン画面を
		表示する設定にしている場合必要。
		※以下設定の場合
		MIRAIs[SIMON] PIDSW=0 カッつ
		KartePrint[PermissionCheck] SpoolerKrtMode=2
カルテ印刷 - 単体起動		カルテ印刷単独起動時にログイン画面を表示する設定にし
		ている場合必要。
		※以下設定の場合
		MIRAIs[SIMON] PIDSW=0 カッつ
		KartePrint[PermissionCheck] SpoolerSingleMode=2
マスターメンテナンス		マスターメンテナンス起動時にログイン画面を表示する設
		定にしている場合必要。
		※以下設定の場合
		MIRAIMSTMNT[STARTMENU] STARTMENUSW=1
オーダー通知		オーダー通知からカルテを起動する際に MIRAIs のログ
		イン機能を使用しない設定にしている場合必要。
		※以下設定の場合
		OrderCheck [MIRAISMAIN] LOGIN=OFF

- 4-2-1. ID Manager アプリケーションを追加する
 - ※以降の手順「4-2-1.ID Manager アプリケーションを追加する」~「4-2-3.対象 アプリケーションを登録する」は「MIRAIs ログイン」の設定手順となります。
 - EVE MA 管理ツールにログオンしてドメインのプロパティを開き、
 [EVE] [アプリケーション]を表示します。
 - [50006] ID Manager application plugin」を選択して
 [追加] ボタンをクリックします。

DDS.localのプロパティ	?	×
全般 管理者 EVE		
全般 アプリケーション 認証セット 認証要素		
[50002] EVE MA settings [
 [50006] ID Manager application plugin [50008] Windows Logon Lite 		
追加(D) 削除(E) 認証セット選択(S) 詳細	B(T)	
OK キャンセル	適用(/	4)

3. [ID Manager アプリケーションの追加] 画面で名称などを設定します。

ID Manager アプリケーショ	ンの追加	×
アプリケーション ID(1):	61000 (61000 ~ 65999)	
アプリケーション名(N):	MIRAIs ログイン	
説問用(D):		
	OK キャンセル	

4-2-2. 詳細の設定

1. 「4-2-1 ID Manager アプリケーションを追加する」で追加したアプリケーションを 選択して「詳細」ボタンを押下する。

DDS.localのプロパティ	?	\times
全般 管理者 EVE		
全般 アプリケーション 認証セット 認証要素		-
 ☑ [50002] EVE MA settings ☑ [50006] ID Manager application plugin ☑ [50008] Windows Logon Lite 		
▼[ID Manager:61000] MIRAIs ログイン		
]
追加(<u>D</u>) 削除(<u>E</u>) 認証セット選択(<u>S</u>) 詳細	(I)	
OK =====	適用(<u>A</u>	0

2. 「送出情報の選択、形式」の「ユーザーIDの種類、形式」「パスワードの種類」 を下記内容で設定する。

項目	設定内容
ユーザーID の種類、形式	Windows ログオン時のユーザー名(ユーザー名の
	み、ドメイン名は送出しない)
パスワードの種類	Windows ログオン時のパスワード

MIRAIs ログインの詳細 (ID Manager:61000)	×
アプリケーション名(N): MIRAIs ログイン 説明(D):	
50006-1: アプリケーションの設定 監視対象アプリケーション情報が設定されています 編集(E) クリア(L) 50006-2: 登録制限 □ → 般ユーザーによる、ID、パスワードの更新を許可する(U)	
50006-3: 送出情報の選択、形式 ユーザー ID の種類、形式(S) Windows ログオン時のユーザー名 (ユーザー名のみ、ドメイン名は送出しない) パスワードの種類(P) Windows ログオン時のパスワード	~
ОК	キャンセル

4-2-3.	対象アプリケーションを登録する
	アプリケーションの詳細画面で「編集」ボタンをクリックすると、 「アプリケーションの登録」画面が表 示されます
	MIRAIs ログインの詳細 (ID Manager:61000)
	アプリケーション名(N): MIRAIs ログイン 説明(D):
	50006-1: アプリケーションの設定 監視対象アプリケーション情報が設定されています 編集(E) クリア(L)
	50006-2: 登録制限 □ 一般ユーザーによる、ID、パスワードの更新を許可する(U)
	50006-3: 送出情報の選択、形式 ユーザー ID の種類、形式(S)

Windows ログオン時のユーザー名 (ユーザー名のみ、ドメイン名は送出しない)

パスワードの種類(P)

Windows ログオン時のパスワード

 \times

 \sim

 \sim

キャンセル

ΟK

「アプリケーショ	ンの登録」	画面
----------	-------	----

🂁 アプリケーショ	ヨンの登録				- 🗆	×
ID Ma	anager登録名(N): [Untitled]	
検出条件	タイトル(T): [ブロセス名(P): [キーワード(K): [□サイズ(Z)	Untitled		 	】 ☑ 完全一致 】] ☑ 完全一致	
送出手順 送出モード Web(H) Window(V ● KeySend(項目 〈項目を指定 〈()	EUてください)	回数 1	<u>追加(A)</u> 挿入(1) 肖邶除(D) ↑(J) ↓(M) □Clipboard経由	 ✓ 有効(G) □ 自動送出((〕 詳細設定(O) テスト実行(S) ログ設定(*) 	Q))
				□ Tab?刀規引化(×)	インボート(F) エクスボート(E 登録(R) キャンセル(C) E) D)

4-2-3-1. 詳細画面の設定

下記項目の設定を行う。

項目	設定内容
認証画面をロックする方法	ウィンドウをロック
ログインした画面は一定期間、検出を行わない	OFF
コントロールの取得に拡張モードを使用する	OFF

詳細設定	×
認証画面をロックする方法(L): ウィンドウをロック ~	
「コントロールをロック」はWindowモードで拡張モードがOFFの場合のみ使用できます。	
 ログインした画面は一定期間、検出を行わない(R) 検出を行わない期間(T): 5 秒 (1~3600秒) 	
□コントロールの取得に拡張モードを使用する(U)	
WindowsVistaではWindowsの更新プログラムのインストールが必要です。	
OK キャンセル	

4-2-3-2. 対象アプリケーションを認識する

1.「対象アプリケーション」と「アプリケーションの登録」を起動する。

「MIRAIs ログイン画面」

MIRAIs/PX	
HUPCTR1-	
雑員 - ド	
/(27 F	
	Bagelii
	MI-RA-Is/PX

「アプリケーションの登録」

ID Manager登録名(№): Untitled 検出条件		完全一致	
検出業計 タイトル(I): Untitled ブロセス名(P): キーワード(K): ロサイズ(Z) 0 送出手順 洋山エード]完全一致 完全一致	
Web(H) (項目を指定してください) 1 Window(W) ● KeySend(Y) 1	道加(A) 挿入(J)	☐有効(G) ☐有効(G) ☐自動送出(G) 芹スト実行(S) ログ設定(*) インポート(E) :クスポート(E) ごクスポート(E) 登録(E) キャンセル(C)	2)

2. 「アプリケーションの登録」画面で虫めがねアイコンを、対象アプリケーションに ドラッグ & ドロップします。

虫めがねアイコン



虫めがねアイコンを、対象アプリケーションにドラッグ & ドロップする。 「MIRAIs ログイン画面」

s/PX 「アプリケー	ションの登録」
一検出条件	
	タイトル(T): Untitled
	プロセス名(P):
	キーワード(K):
	□サイズ(Z) 0

3. 虫めがねアイコンをドロップすると、自動取得したアプリケーションの情報が アプリケーション登録画面に表示されます。

🎒 アプリケーシ	ョンの登	学録				_		\times
ID №	Manage	r登録名(<u>N</u>):	Untitled					
	プロ キ` □	タイトル(<u>T</u>): ロセス名(<u>P</u>): ーワード(<u>K</u>): サイズ(<u>Z</u>)	ログイン MIRAIsMain.exe 1920 × 100	30] ^[] 元] [] 元	注一致 注一致	
- 送出手順 — 送出モード ○ Web(<u>H</u>) ○ Window(● KeySend	9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	項目 (項目を指定	をしてください)	1	追加(<u>A</u>) 挿入(I) 削除(D) ↑(J) ↓(M) Clip <u>b</u> oard経由 Tab初期化(炎)	図 副 副 副 一 の 立 ク ー	有効(G) 自動送出 (L) マト実行(S) ジボート(E) スボート(2 録(R) ャンセル((Q)))))) (E) C)
作成日時: :	2017/1	0/27 22:28:1	14 更新日時:					

4-2-3-3. アプリケーションの登録画面の設定

以下表に従い各項目の設定を行う。

<その他>

項目	設定内容
ID Manager 登録名	MIRAIs ログイン
有効	ON
自動検出	ON

🍰 アプリケーションの	登録			- 🗆 X
ID Manae	er登録名(N): MIRAIs ログイン]
	タイトル(T): ログイン Iロセス名(P): MIRAIsMain.exe ニーワード(K): コサイズ(Z) 1920 × 1080] ☑ 完全一致]] ☑ 完全一致
送出手順 送出モード Web(H) Window(W) KeySend(Y)	項目 (項目を指定してください)	回数 1	<u>追加(A)</u> 挿入(1) 前除(D) ↑(J) ↓(M) □ Clipboard経由 □ Tab初期化(X)	 □ 有効(G) □ 自動送出(Q) 詳細設定(O) テスト実行(S) ログ設定(*) インボート(F) エクスポート(E) 登録(R) キャンセル(C)
作成日時: 2017/	(10/27 22:28:14) 更新日時: 2017/1	0/27 22:29:58		

項目	設定内容
タイトル	ログイン
タイトルの完全一致	ON
プロセス名	MIRAIsMain.exe
キーワード	(未設定)
キーワードの完全一致	OFF
サイズチェックボックス	OFF

<検出条件>

	登録			- 🗆 X
ID Manage	er登録名(N): MIRAIs ログイン			
	タイトル(T): ログイン ロセス名(P): MIRAIsMain <i>e</i> xe ーワード(K):]サイズ(Z) 266 × 129			□完全→致□完全→致
送出手順 送出モード O Web(H) O Window(W) ④ KeySend(Y)	項目 (項目を指定してください)	1	<u>追加(A)</u> 挿入(I) 削除(D) ↑(J) ↓(M) Clipboard経由 □Tab初期(L(X)	 ✓ 有効(G) ✓ 自動送出(Q) 詳細設定(O) テスト実行(S) ログ設定(*) インボート(F) エクスボート(E) 登録(R) キャンセル(C)

<送出手順>

項目	設定内容
送出モード	KeySend
送出モードの登録項目	ユーザーID
	Tab キー
	パスワード
	Tab キー
	Enter +

🌆 アプリケーシ	ານຫ	登録					_	Π	×
									~
ID M	lanage	er登録名(N):	MIRAIs ログイン				7		
按山东伊									
19,00,3411		タイトル(T):	ログイン] [] f	完全一致	
	プ	ロセス名(P):	MIRAIsMain.exe				1		
	+	ーワード(K):					_]	完全一致	
]サイズ(Z)	266 × 1	29					
_送出手順—									
送出モード		項目		回数)启力N(A)	\leq	有効(G)	
◯ Web(H)		ユーザーII)	1		挿入(1)		自動送出)(Q)
○ Window(W)	バスワード	「ao+ 「 パスワード 1 削除(D)			=	端間気定い フレータシニノ	// EX	
KeySend	(Y)	Tab+- 1 ↑(J)				スド美けい コグ設定の	3) *)		
		Enterキー (項日参指:	言してください)	1		↓ (M)		コンまたたい	r/ 5)
			20 0 0 2000			□Clipboard経由	- 1. エク	ンホード() 7フポート	·/ (F)
						コ Tab初期化(X)		2021	(= /
								登禄(R)	
							-	ヤノセル	.0)
作成日時: 2	2017/	08/08 14:44:0)6 更新日時:201	17/10/27 21:56:	12				

設定後の画面イメージ 【アプリケーションの登録画面】

🏠 アプリケーショ	ンの登録			- 🗆 X
ID Ma	nager登録名(N): MIRAIs ログイン]
	タイトル(T): ログイン プロセス名(P): MIRAIsMain.exe キーワード(K): ロサイズ(Z) 266 × 129] ☑ 完全一致]] □ 完全一致
送出手順 送出モード ○ Web(H) ○ Window(W ④ KeySend()	項目 ユーザーID Tabキー パスワード パ Tabキー Enterキー (項目を指定してください)	回数 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>追加(A)</u> 挿入(I) 削除(D) ↑(J) ↓(M) □Clipboard経由 □Tab初期化(X)	 □ 有効(G) □ 自動送出(Q) 詳細設定(O) テスト実行(S) ログ設定(*) インボート(F) エクスポート(E) 登録(R) キャンセル(C)
作成日時: 20	17/08/08 14:44:06 更新日時: 2017/	10/27 21:56:12		

【詳細設定画面】

詳細設定	×
認証画面をロックする方法(L): ウィンドウをロック ~	
「コントロールをロック」はWindowモードで拡張モードがOFFの場合のみ使用できます。	
□ログインした画面は一定期間、検出を行わない(R)	
検出を行わない期間(T): 5 秒 (1~3600秒)	
□コントロールの取得に拡張モードを使用する(U)	
WindowsVistaではWindowsの更新プログラムのインストールが必要です。	
OK キャンセル	

4-2-4. ID Manager アプリケーションの設定内容一覧

「MIRAIs ログイン」以外に追加が必要なアプリケーションがあった場合は、「4-2-1.ID Manager アプリケーションを追加する」~「4-2-3.対象アプリケーションを登録する」の 手順を参考にしてアプリケーションの追加を行ってください。

また、以下に「全アプリケーション共通項目」とアプリケーション毎の「タイトル」と 「プロセス名」を一覧にまとめています。

4-2-4-1. 全アプリケーション共通項目

<詳細画面>

項目	設定内容
ユーザーID の種類、形式	Windows ログオン時のユーザー名
	(ユーザー名のみ、ドメイン名は送出しない)
パスワードの種類	Windows ログオン時のパスワード

<アプリケーション登録画面の設定>

<その他>

項目	設定内容
ID Manager 登録名	該当のアプリケーション名
有効	ON
自動検出	ON

<検出条件>

項目	設定内容
タイトル	「4-2-4-2「タイトル」と「プロセス名」」を参照
タイトルの完全一致	ON
	※「マスターメンテナンス」のみ OFF とする。
プロセス名	「4-2-4-2「タイトル」と「プロセス名」」を参照
キーワード	(未設定)
キーワードの完全一致	OFF
サイズチェックボックス	OFF

項目	設定内容
送出モード	KeySend
送出モードの登録順	ユーザーID
	Tab キー
	パスワード
	Tab キー
	Enter +

4-2-4-2. 「タイトル」と「プロセス名」

「アプリケーション登録画面の設定/検出条件」の「タイトル」と「プロセス名」は

アプリケーション毎に異なる為、以下に設定内容を記載します。

アプリケーション名	タイトル	プロセス名
MIRAIs ログイン	ログイン	MIRAIsMain.exe
スクリーンセーバー・	ログイン	MIRAIs.scr
離席時		
カルテ印刷	ログイン	Karte.exe
カルテ印刷 - 単体起動	ログイン	MIRAIs.KartePrint.KartePrintMain.exe
マスターメンテナンス	MIRAIs マスターメ	MSACCESS.EXE
	ンテナンス	
オーダー通知	ログイン	OrderCheck.exe

4-2-4-3. アプリケーションの登録画面設定イメージ

【マスターメンテナンス】

🏤 アプリケーションの	登録			- (×	
ID Manag	er登録名(N): マスターメンテナンス	ξ					
	検出条件 タイトル(T): MIRAIs マスターメンテナンス プロセス名(P): MSACCESS.EXE キーワード(K): 1930 × 1054				□ 完全一致 □ 完全一致		
送出手順 送出モード O Web(H) O Window(W) ④ KeySend(Y)	項目 ユーザーID Tabキー パスワード Tabキー Enterキー (項目を指定してください)	回数 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>追加(A)</u> 挿入(0) 削除(D) ↑(J) ↓(M) □ Clipboard経由 □ Tab初期化(X)	 「有」 「自」 「テスト 「テスト 「クブ インホ エクス: 登 キャン 	か(G) 助送出(設定(O) 実行(S 設定(* ペート(F ポート() 緑(R) ノセル()	(Q)))) E) C)	
作成日時: 2017/	/08/08 16:09:43 更新日時 : 2017.	/10/27 22:00:03					

※マスターメンテナンスのログイン画面の検出を行うとタイトルに Version [x.x.xxxx] の表示がされます。Version [x.x.xxxx]を削除して、完全一致のチェックボックスを OFFとする。 【スクリーンセーバー・離席時】

🏠 アプリケーシ	ョンの	登録			- 🗆	×
ID M	lanag	er登録名(N): スクリーンセーバー・	離席時]	
	プ キ □	タイトル(T): ログイン ロセス名(P): MIRAIS.scr ーワード(K):]サイズ(Z) 0 × 0] ☑完全一致]] □完全一致	
送出手順 送出モード () Web(H) () Window(() KeySend	W) I(Y)	項目 ユーザーID Tabキー バスワード Tabキー Enterキー (項目を指定してください)	回数 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>追加(A)</u> 挿入(1) 肖印除(D) ↑(J) ↓(M) □ Clipboard経由 □ Tab初期化(X)	 ✓ 有効(G) ✓ 自動送出 詳細設定(テスト実行 ログ設定 インボート エクスポート 登録(R キャンセル 	B(Q) (S) (S) (¥) (F) (F) (E)
作成日時: 2	2017/	L	/10/27 21:56:34		ーキャノビル	//0/

【カルテ印刷】

☆ アプリケーションの登録							
ID Manag	er登録名(N): カルテ印刷]			
	タイトル(T): ログイン ロセス名(P): Karte.exe ーワード(K):]サイズ(Z) 266 × 129] ☑ 完全一致]] □ 完全一致			
送出手順 送出モード 〇 Web(H) 〇 Window(W) ④ KeySend(Y)	項目 ユーザーID Tabキー バスワード Tabキー Enterキー (項目を指定してください)	回数 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>追加(A)</u> 挿入(1) 肖明除(D) ↑(J) ↓(M) □ Clipboard経由 □ Tab初期化(×)	 □ 有効(G) □ 自動送出(Q) 詳細設定(O) テスト実行(S) ログ設定(*) インボート(F) エクスボート(E) 登録(R) キャンセル(C) 			
作成日時: 2017/	08/08 15:58:01 更新日時: 2017/	10/27 21:57:37					

【カルテ印刷 ・ 単体起動】

合、アプリケーションの登録 ー ロ ×								
ID Mar	nager登録名(N): 力ルテ印刷・単体起	動]				
検出条件	タイトル(T): ログイン プロセス名(P): MIRAIs KartePrint K キーワード(K): ロサイズ(Z) 266 × 111	artePrintMain.exe] ☑ 完全一致]] □ 完全一致				
送出手順 送出モード ○ Web(H) ○ Window(W) ④ KeySend(Y	項目 ユーザーID Tabキー パスワード Tabキー Enterキー (項目を指定してください)	回数 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>追加(A)</u> 挿入(1) 削除(D) ↑(J) ↓(M) □Clipboard経由 □Tabネフ別折(上(X)	 □ 有効(G) □ 自動送出(Q) 詳細設定(O) テスト実行(S) ログ設定(*) インポート(F) エクスポート(E) 登録(R) キャンセル(C) 				
作成日時: 20	17/08/08 16:03:48 更新日時: 2017	7/10/27 21:58:22						

【オーダー通知】

合、アプリケーションの登録 ー ロ ×							
ID Manage	er登録名(N): オーダー通知]			
検出条件 ブ キ	タイトル(T): ログイン ロセス名(P): OrderCheck.exe ーワード(K):]サイズ(Z) 0 × 0]			
送出手順 送出モード Web(H) Window(W) ④ KeySend(Y)	項目 ユーザーID Tabキー バスワード Tabキー Enterキー (項目を指定してください)	回数 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>追加(A)</u> 挿入(① 削除(D) ↑(J) ↓(M) □ Clipboard経由 □ Tab初期化(X)	 □ 有効(G) □ 自動送出(Q) 詳細設定(O) テスト実行(S) ログ設定(*) インポート(F) エクスポート(E) 登録(R) キャンセル(C) 			
作成日時: 2017/	08/08 16:13:49 更新日時: 2017/1	0/27 21:58:50					

4-3.認証セットの設定

「4-2.共通アプリケーションの設定」で追加した ID Manager アプリケーションに 「4-1.認証セットの追加」で追加した「指紋認証」の認証セットを設定します。

本手順は「[50008]Windows Logon Lite」と追加した全ての ID Manager アプリケーションに 対して行ってください。行わなかった場合認証画面が起動しません。

1. 認証セットを追加する ID Manager アプリケーションを選択し「認証セット選択」ボタンを 押下する。

DDS.localのプロパティ				?	×	
全般 管理者 EVE						
全般 アプリケーション	認証セット	認証要素			_	
 ✓ [50002] EVE MA settings ✓ [50006] ID Manager application plugin ✓ [50008] Windows Logon Lite 						
[ID Manager:61000]	MIRAIs D/	/12			_	
追加(<u>D</u>)	削除(<u>E</u>)	認証セッ	卜選択(<u>S</u>)	詳細(<u>1</u>)		
		OK	キャンセル	適用(<u>A</u>)	

2. 「指紋認証」のチェックボックスにチェックを付け「OK」ボタンを押下する。

MIRA	Als ログイ	ンで利用可能な認証セット		×
	39000 10005	ンで利用可能な認証セット 認証セット名 Password for MA settings 指紋認証	説明 Password authentication information set for EVE MA settings	
			OK キャンセル	

4-4.ID Manager のリロード

ID Manager で設定を変更した場合、リロードを行い変更内容を反映させる。

ID Manager アイコン



1.ID Manager のアイコンの右クリックメニューから「リロード」を選択する。



2.リロード中はアイコンが変更します



3.アイコンが元に戻るまで待機します。



5. クライアント端末の環境構築

5-1.クライアント端末のセットアップ

クライアント端末の環境構築は、MIRAIs を使用している全ての端末で必要となります。 環境構築方法は「【クライアント用端末】 - 環境構築手順書.docx」を参照してください。

6. 指紋登録

6-1.ユーザーの作成

管理用端末で「Active Directory ユーザーとコンピューター」を起動してドメインユーザーの 作成を行う。※既存のユーザーに対し指紋登録を行う場合、ユーザーの作成は不要です。

6-2.指紋登録

管理者用端末から指紋の認証を行います。 ※クライアント端末での指紋の登録は行えないため、管理者用端末から指紋の登録を行います。

1.「Active Domain ユーザーとコンピューター」を起動する。

📔 Active Directory ユーザーとコンピューター		_		×			
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)						
🗢 🔿 🙋 📷 🔏 📋 🗙 🔯 🧔	Þ 🔿 📶 🦨 🖹 🗙 🗐 🖻 😼 🛛 🗊 🗏 🍇 🖆 🍸 💆 🍇						
 ▲ Active Directory ユーザーとコンピューター [T ○ 保存されたクエリ ◇ Builtin ◇ Computers ◇ Domain Controllers ◇ ForeignSecurityPrincipals ◇ Managed Service Accounts ○ Users 	名前 ADAccessUser Administrator Administrator Administrator Allowed RODC Password Replication Group Cert Publishers Cloneable Domain Controllers Denied RODC Password Replication Group DnsAdmins DonsUpdateProxy Domain Admins Domain Computers Domain Computers Domain Controllers Domain Guests Domain Users Enterprise Admins Enterprise Read-only Domain Controllers Gouest RAS and IAS Servers Read-only Domain Controllers Schema Admins testuser WinRMRemoteWMIUsers_	種類 ユーザー ユーザー セキュリティグループ - ドメイン セキュリティグループ - ドメイン セキュリティグループ - ドメイン セキュリティグループ - ドメイン セキュリティグループ - ドメイン セキュリティグループ - グローバ セキュリティグループ - グローバ セキュリティグループ - グローバ セキュリティグループ - グローバ セキュリティグループ - クローバ セキュリティグループ - ユニバー セキュリティグループ - ドメイン セキュリティグループ - レーバ セキュリティグループ - レーバ セキュリティグループ - ビス/ セキュリティグループ - ビメイン セキュリティグループ - ビメイン		説 コ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ			
< >>	<			>			

📔 Active Directory ユーザーとコンピューター				-		\times
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)						
🗢 🔿 🙋 📰 🤞 📋 🗙 🗐 🙆	🗟 🛛 🖬 🗏 🔽 🖆	i 🔻 🗾 🍇				
 Active Directory ユーザーとコンピューター [T ○ 保存されたクエリ ◇ ● Builtin > ● Computers > ● Domain Controllers > ● ForeignSecurityPrincipals > ● Managed Service Accounts ● Users 	名前 ADAccessUser Administrator Allowed RODC Passwo Cert Publishers Cloneable Domain Cc Denied RODC Passwo Denied RODC Passwo DnsUpdateProxy Domain Admins Domain Computers Domain Computers Domain Computers Domain Computers Domain Guests Domain Guests Domain Guests Domain Guests Domain Guests Domain Guests Domain Users Enterprise Read-only Group Policy Creator Guest RAS and IAS Servers Read-only Domain Cc Schema Admins testuser WinRMRemoteWMIUse	rd Replication Group コピー(C) グループに追加(G) アカウントを無効に パスワードのリセット 移動(V) ホームページを開く メールを送信(A) すべてのタスク(K) 切り取り(T) 削除(D) 名前の変更(M) ブロパティ(R) ヘルプ(H)	種類 ユーザー ユーザー セキュリティグルーフ キャキュリティグルーフ キャキュリティグルーフ ((O)		コーカル コーカル レーカル レーカル レレレレ レレレ レレ レレ レ レ レ レ レ レ レ	説明 コンピュ このグル このグル このグル DNS 管 DHCP ドメインン ドメインン ドメインン このグル このグル このグル に スタグル に スタグル に マのグル に マのグル に マのグル に マのグル このグル このグル このグル このグル このグル このグル このグル こ
< >>	<					>
選択した項目のプロパティ ダイアログ ボックスを開き	きます。					

2.指紋登録を行うユーザーを選択し、右クリックメニューからプロパティーを開く。

3.「EVE」タブを選択し、「ログオン」ボタンを押下する。

testuserのプロ	1パティ				?	\times
所属す? 全般 リモート デ	るグループ 住所 スクトップ サービン	環境 アカウント スのプロファ <mark>イ</mark> ル	セッション プロファイル COM+	り 電話 フリガナ	Jモート制御 組織 EVE	
全般		NV2 □ 27117	CONT	77117		
	オフラインでの罰	2証を許可する(E)				
						.
	<u>0</u> 7	オン(L)	ログオフ	(O)		
		ログアウト	済み			
	ОК	キャン	セル 適	用(A)	~JUJ	ŕ

4.「ユーザー名」に「3・4. EVE MA 管理者用ドメインユーザーの作成」で作成したユーザーを 指定し、「パスワード」欄にパスワードを入力してログインする。

🔰 EVE MA 管理ツール - ログオン (評価用ライセンス)	×
フーザー名(U): maadmin@dds.local	
Password for MA settings パスワード(P): ●●●●●●●	
OK キャンセル	

※手順書通り設定を行った場合ユーザー名、パスワードは以下となります。

ユーザー名:maadmin@<DNS ドメイン名>

パスワード:maadmin

5.「EVE」タブ→「認証要素」タブ→「Hybind Fingerpint」の順に選択し「登録・更新」ボタン を押下する。

estuserのフ	プロパティ				?	×
所属	するグループ	環境	セッション	U:	E-卜制御]
全般	住所	アカウント	プロファイル	電話	組織	t
リモート	デスクトップ サービス	えのプロファイル	COM+	フリガナ	EVE	
全般	アプリケーション	認証セット認	証要素			
Pass	word					1
Hybr	id Fingerprint					
,	ツール(T)	登録内容(D)	登録·更新(R)	設定	E(S)	ı I
	OK	++11	わし、海田	B(A)	A 11-	f
	OK	117		D(H)	1000	

6.指紋を登録する指を選択し、「追加、更新」にチェックを付け「次へ」ボタンを押下する。



7.指紋認証キットで指紋の登録を行い「次へ」ボタンを押下する。 ※3回以上認証を行うと「次へ」ボタンが有効になる。



8.「次へ」ボタンを押下する。

Hybrid Fingerprintの登録・更新	×
指紋情報を登録しました。	
✓指紋の追加/変更/削除を行う(C)	
	(D) \$74(N) \$ 455 470
 (beg) 	

9.「キャンセル」ボタンを押下して画面を閉じる。指紋情報の追加、更新、削除を行う場合は続けて行う。

Hybrid Fingerprintの登録・更新	×
追加、更新、または、削除する指を選択してください。 #作対象の指の上にあるのポリックして、たなへJボタンをクリックして、しな人Jボタンをクリックして、しな人Jボタンをクリックして、しなへJボタンをクリックして、しな人Jボタンをクリックしの、しな人Jボタンをクリックしの、またもの、「」の、「「「」の」の、「」の」の、「」の、「」の、「」の、「」の、「」の、	次ンを ックして
< 戻る(B) 次へ(N) > キ ャ	ルセル

<指紋の削除>

1.指紋情報を登録している指を選択し「削除」にチェックを付け「次へ」ボタンを押下する。



2.「はい」ボタンを押下する。



<指紋登録情報の確認>

 「EVE」タブ→「認証要素」タブ→「Hybind Fingerpint」の順に選択し「登録内容」ボタン を押下する。

tuserのノ	プロパティ				?	
所属	するグループ	環境	セッション	J	モート制御	p
全般	住所	アカウント	プロファイル	電話	組維	ŧ
UE-P	デスクトップ サービス	えのプロファイル	COM+	フリガナ	EVE	
会会	จรใบห_ออจน	まわままよい。 記	証要実			
土瓜	7797-232	80 AT 67 80	HELSK 996			
Passy	word					
Hybr	id Fingerprint					
	ツール(T)	登録内容(D)	登録・更新(R)) 設	定(S)	
			-			

2.指紋登録内容を確認する。



7. 職員マスター (ComStaff) の設定

※本手順は全ての職員に対して行ってください。設定を行わない場合正常にログインが行えません。 職員マスター(ComStaff)の「職員コード」と「パスワード」を「ドメインユーザーのユーザー名、 パスワード」と同じ設定にする。

ComStaff の項目	登録する値
職員コード	ドメインユーザーのユーザー名
パスワード	ドメインユーザーのパスワード

※新規職員に対し指紋を登録する場合、職員マスターに新規で職員の追加を行い「職員コード」と「パスワード」を「ドメインユーザーのユーザー名、パスワード」と同じ設定にしてください。
 ※既存職員に対し指紋を登録する場合、「職員コード」と「パスワード」を「ドメインユーザーのユーザー名、パスワード」と同じ設定にしてください。

職員マスター (ComStaff)



【補足】

DDS 社指紋認証キットで指紋認証を行った際、EVE MA サーバーに登録している指紋情報を元に ドメインサーバーからユーザー名とパスワードを取得し MIRAIs ヘログインを行います。 本手順を行わなかった場合、指紋情報と職員情報の紐付けが行えないためログインできません。

8. 関連設定ファイル

8-1.MIRAIs.xml

セクション名	エントリー名	エントリーコメント	
SIMON	PIDSW	指紋認証ログオンの使用/未使用フラグを設定	
		0:未使用	
		1:使用(NEC)	
		2:使用(SecuSearch)	
		3:使用(NEC 指ハイブリッド認証)	
複数病院対応	SW	複数病院対応の使用有無	
		ON :使用する	
		OFF:使用しない(既定値)	

8-2.KartePrint.xml

セクション名	エントリー名	エントリーコメント
PermissionCh	SpoolerMain	MIRAIsMain からのカルテ印刷起動時に、利用権チェックを行うか
eck	Mode	を設定
		0:ログイン画面を表示しない。利用権チェックも行わない。
		1:ログインを行った操作者の利用権にて、メニュー・ボタンの
		使用可否を制御する
		2 : MIRAIs.xml [SIMON] PIDSW の設定に従って、
		ID パスワード入力、または指紋認証によるチェックを行う
	SpoolerKrtM	カルテからのカルテ印刷起動時に、利用権チェックを行うかを設定
	ode	0:ログイン画面を表示しない。利用権チェックも行わない。
		1:ログインを行った操作者の利用権にて、メニューの使用可否を
		制御する
		2 : MIRAIs.xml [SIMON] PIDSW の設定に従って、
		ID パスワード入力、または指紋認証によるチェックを行う
	SpoolerSingl	カルテ印刷単独起動時に、利用権チェックを行うかを設定
	eMode	0:ログイン画面を表示しない。
		利用権チェックも行わない。
		1:ID パスワード入力によるチェックを行う

8-3.SeatOff.xml

セクション名	エントリー名	エントリーコメント
SEATOFF	MENU	MIRAIs メイン、カルテ、クリティカルパスで[離席]起動ボタンを表
		示するかどうか。
		ON :表示する
		OFF:表示しない

8-4.OrderCheck.xml

セクション名	エントリー名	エントリーコメント
MIRAISMAIN	LOGIN	カルテ及び指示受け起動時のログインをオーダー通知で行うか、
		MIRAIsMain で行うかを設定します。
		ON: MIRAIsMain でログインする
		(オーダー通知の操作者パネル等が非表示になる)
		※ログイン後にカルテや指示受けは起動しない。
		OFF:オーダー通知でログインする(既定値)

8-5.MIRAIMSTMNT.xml

セクション名	エントリー名	エントリーコメント
STARTMENU	STARTMEN	利用権メンテナンス使用の切り替え
	USW	0 :利用権メンテナンスに関係なく、マスタメンテの起動・全ての
		マスタの利用を可能にする(既定値)
		1 : ログイン画面を起動画面とし、マスタメンテ用利用権メンテナ
		ンスで設定した職種と利用できるマスタのみ、マスタメンテの
		起動・マスタの利用を可能にする

DDS 指紋認証環境構築手順

4版 2017年12月22日

ダ株式会社シーエスアイ

〒003-0029 札幌市白石区平和通15丁目北1番21号 電話:011-861-1500 FAX:011-861-1510